

北見工業大学後援会「KIT げんき会」総会

日 時：平成30年7月3日（火）  
15：45～

場 所：北見工業大学 多目的講義室



# 議 事 次 第

## 1. 開会

## 2. 挨拶

(1) 北見工業大学後援会「KIT げんき会」会長

(2) 北見工業大学長

(3) 北見市長

## 3. 議事

(1) 役員の一部改選について

(2) 平成29年度事業報告、決算報告について

(3) 平成30年度事業計画（案）、収支予算（案）について

(4) その他

## 4. 閉会



北見工業大学後援会「KITげんき会」  
平成30年度役員名簿（案）

- 顧問 辻 直 孝（北見市長）  
" 鈴木 聡一郎（北見工業大学学長）
- 会長 永 田 正 記（オホーツク商工会議所協議会会長・北見商工会議所会頭）
- 副会長 福 地 博 行（北見鉄工協同組合理事長）  
" 坂 口 政 義（北見商工会議所中小企業委員会委員長）  
" 西 川 孝 範（きたみらい農業協同組合代表理事組合長）  
" 今 野 敦（北見医師会会長）  
" 越 膳 良 臣（北見工業大学同窓会顧問）
- 常務理事 柴 野 純 一（北見工業大学理事・副学長）
- 理事 飯 田 唯 勝（北見歯科医師団団長）  
" 石 澤 徳 司（北見地区電気工事業協同組合理事長）  
" 菅 原 吉 隆（北見ぼらんち会会長）  
" 田 村 友 朗（北海道中小企業家同友会オホーツク支部支部長）  
" 金 田 充 郎（北見信用金庫理事長）  
" 河 合 昭 徳（日本自動車販売協会連合会北見支部支部長）  
" 小 松 正 道（協同組合北見総合卸センター理事長）  
" 佐々木 敏 行（北見舗装協会会長）  
" 清 水 大（北見薬剤師会会長）  
" 辻 好 治（北見観光協会会長）  
" 富 山 佳 男（北見測量設計協会会長）  
" 永 田 裕 一（北見物産協会会長）  
" 久 島 和 俊（北見建設業協会会長）  
" 細 野 拓 朗（北見金融協会会長）  
" 舩 川 誠（北見工業団地会会長）  
" 増 田 悦 郎（北海道獣医師会オホーツク支部支部長）  
" 真 柳 正 裕（北見市商店街振興組合連合会理事長）  
" 山 田 義 久（協同組合日専連北見代表理事）  
" 橘 邦 彦（北見工業大学同窓会顧問）
- 監 事 小 澤 實之郎（日本赤十字社北見市有功会会長）  
" 富 田 剛 夫（北見工業大学同窓会北見支部支部長）

（順不同：敬称略）



# 北見工業大学後援会 KITげんき会

## 平成29年度 事業報告書

### 目 次

#### 1 学生に対する支援

##### (1) 語学研修プログラムへの参加旅費の助成

オーストラリア . . . . . 1

台 湾 . . . . . 13

ドイツ . . . . . 20

##### (2) 短期交流研修（派遣）の助成

大韓民国 . . . . . 24

(3) 留学生派遣の助成 . . . . . 33

(4) インターナショナルCアワー開催の助成 . . . . . 35

(5) 留学生交流イベントの助成 . . . . . 36

(6) 就職支援助成 . . . . . 38

(7) 図書館配架用学生向け参考図書購入の助成 . . . . . 40

#### 2 大学広報等への支援

(1) 女満別空港広告看板掲出料の助成 . . . . . 42

3 北見ぼんちまつり参加者への助成 . . . . . 43





平成 29年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

- 1 実施事業名  
語学研修プログラム参加旅費の助成（オーストラリア）

2 事業概要

研修先	シドニー大学
研修期間	2018年2月24日から2018年3月25日
助成対象・金額	5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	地球環境工学科・1年
氏名	児玉 愛理
報告	<p>英語力の向上のためにこのシドニー語学研修に参加しました。英語で話さなければならない場所に身を置いたことにより、英語を聞く力や話す力が向上したと考えます。</p> <p>授業では会話を中心に活動し単語、文法や発音を学ぶことができました。与えられたテーマに沿って会話しコミュニケーションの力をつけると同時に、日本人にとって難しい発音を先生の指摘を受けながら学びました。当然すべて英語で伝え、聞かなければならないので大変でしたが、毎日楽しく英語力を向上できる時間となりました。</p> <p>この研修で特に良い経験であったことは、異文化を体験できたということです。私の目的はそこではなかったのですが、ホームステイを通して日本ではあまり体験できない文化に触れることができ、一番の習得でした。私のホストファミリーはユダヤ人の家族で食べ物の規制やその文化特有の日があり、文化について教えてもらったり、体験したりできました。私とは全く違う生活で興味深いものでした。毎週金曜日の日の入から土曜日の日の入まで安息日であり、祈りを行ったり、火や電気の使用が規制されたりと知識の中には一切なかったことが身をもって経験でき意味のある時間でした。</p>
謝辞	<p>本研修に際して、助成をいただきました。語学研修を通して英語力を習得し、異文化体験もでき有意義な時間となりました。シドニーで語学研修という形で貴重な体験をさせていただきKIT 元気会会員の皆様へ感謝申し上げます。</p>

所属専攻・学年	地球環境工学科・1年
氏名	藤井 恵利子
報告	<p>今回の研修で私は初めて海外へ行くことになった。自分の意見をはっきりさせることの大切さを知った。察してくれるだろうという考えは海外ではほとんど無いと分かった。また、自分から行動することが重要だと感じた。シドニー大学では英語の発音や会話の仕方、イントネーションやオーストラリア英語のスラングなどを知ることができた。また、オーストラリアの文化や歴史を学んだ。実際に地元の学生達と会話をし合う機会があり、オーストラリアと日本の人々の生活や社会問題について話し合うことができた。私は英語がかなり苦手だが、分からないなりに伝えようとすることで理解してくれるということが分かった。私は物事をはっきりさせずになんとなく日本で生きていたが、オーストラリアではなんとなくでは生活できないと感じた。オーストラリアの国風と日本の国風と自分の性格を知ることができた。自分の英語のレベルを知ることができた。オーストラリアへ研修に行ったことで、自分が生きていく選択肢を絞ることができた。</p>
謝辞	<p>本研修をするにあたり、助成を与えてくださる KIT 元気会会員の皆様に深く感謝します。研修に参加したことでたくさんのお得を得ることが出来ました。これからも研修であったことを生かして、さらに勉学に励んでいきます。</p>

所属専攻・学年	地球環境工学科・1年
氏名	椎名 理彩
報告	<p>今回私が得た成果は2つあります。1つ目は、自分の英語の実力を再確認できたことです。日本にいただけでは体験できない発音の仕方や会話の仕方を直接感じることができました。ホストファミリーとの会話では、Yes, OK だけでなく簡単な英文でも印象を伝えるようにしました。また、質問するときは May I ~? や Could you ~? の丁寧な言い方を使うようにしました。私の英語力は十分とはいえなくても、自分のできる精一杯のことをやれたのではないかと思います。次にホストファミリーと会うときは、もっと成長した私を見せたいです。</p> <p>2つ目は、異文化を体験できたことです。日本とは違い、周りに自分のことを公開することが多いように感じました。3月3日に Mardi gras というお祭りがあり、世界各地から人々が訪れており、とても賑やかでした。オーストラリアは多民族国家で、自分の情報を公開しても白い目で見られないところが日本と違っていいところなのだと思います。オーストラリアのいいところを自分の目で直接感じることができました。</p>
謝辞	<p>この語学研修が実りあるものになったのは助成をくださった KIT げんき会会員の皆様のおかげです。心からの感謝の気持ちと御礼を申し上げます。この貴重な体験を先輩や後輩に伝え、発展に尽力していきたいと思います。</p>

所属専攻・学年	地球環境工学科・1年
氏名	中川 一真
報告	<p>本研修により得たことは、大きく分けて二つあります。まず、一つ目は、異文化に対する理解です。オーストラリアの文化のみならず多くの文化に触れることができました。例えば、自分のホストファミリーが中国人の方でしたので、中国の文化についても学ぶことができました。また、オーストラリアは多民族国家でしたので、多くの文化を感じることができました。日本との文化の違いに驚き、初めのほうは抵抗がありましたが、一か月間過ごしている間に理解し慣れることができました。さらに、他国に習慣や風習に興味を持つことができ、新しい事を学びたいという意欲も持つことができました。</p> <p>二つ目は、英語の必要性です。中学校くらいから学校で習い始めて数年経ちますが、英語の必要性を感じるようになりました。オーストラリアは多民族国家ですが英語を話します。つまり、英語を話すことができれば、多くの人と話したり、関われることに気づきました。日本にいれば、必要性はそこまで感じませんが、海外の国ではかなり重要です。また、勉強に対する姿勢も変えることができ、得たものはとても大きいです。</p>
謝辞	<p>今回の留学に関して助成して頂き、誠にありがとうございます。今回の留学で得たものは、とても大きかったです。今回の経験を糧にしてこれからも精進していきます。</p>

所属専攻・学年	地球環境工学科・1年
氏名	國分 敬太
報告	<p>ホストファミリーの家で暮らし学校に通うことで、シドニーでの暮らしや文化を学ぶことができました。</p> <p>私のホストファミリーの家は学校から橋をこえた場所にありバスと電車を使って約1時間の通学でした。基本的にオパールカードと呼ばれる交通ICカードを使っての乗車でした。フェリーもこのカードで乗ることができます。またほとんどの店でクレジットカードなどが使えることから、シドニーは日本と比べてカード化が進んでいる場所だと感じました。シドニーでは様々な国籍の人が滞在しており、とても暮らしやすい場所だということもわかりました。</p> <p>語学学校の授業ではグループでのディスカッションなどが多かったように思います。日本人以外の方と話すときは、完全に英語で話さなければならず、身振り手振りでの表現の重要さは身に染みしました。自分はリスニングに長けていなかったため、リスニング力を向上させたいという思いで留学をした部分があったのですが、4週間ではあまり大きな向上は見られなかったように思います。確かに前より聞き取れるようになったという実感はありますが、日本でしっかり基礎を固めてから留学したほうが成果は大きいものになると思ったのが、今回の反省点です。</p>
謝辞	<p>日本以外の国で暮らすという体験はとても刺激的なものとなりました。本語学研修に行くにあたりこのような事業を実施していただいたKITげんき会会員みなさまに深く感謝いたします。</p>

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科 1年
氏名	島田萌々香
報告	<p>本研修では大きく分けて 2 つの場面で成果を得ることができた。まず 1 つ目、学校内の授業だ。授業では最初、先生が何を言っているのかが聞き取れず、既に 3、4 週間目であった他大学の人に何を言っているのか聞いていた。私は英語が苦手であったことから焦りを感じながらの授業ではあったが、次第に聞き取れることを実感できるようになり、非常に楽しく授業を受けることができた。次にホストファミリーとのことについてだ。私のホストファミリーは英語を話せる人もいたが、スペイン語が家族間での言語だった。そのため、癖のある英語だったり、会話するのにすごく苦労した。しかし、週末には一緒に出かけたり、映画を見たりと楽しく過ごすことができた。家では他の人が味わえないまた別の文化を学ぶことができた。以上のことより、本研修では、多くの経験ができた。英語のスキルアップ、異文化理解、異文化を学ぶことから日本の良さも身を持って感じることもできた。私は 1 ヶ月間本当に楽しく過ごすことができた。この経験は私にとってとても素晴らしいものとなった。</p>
謝辞	<p>この度は、本研修を受けるにあたって、助成していただきありがとうございました。本研修では、ホームステイ、CET などにより、日常の中でも常に生の英語を学ぶことができました。楽しく生活できましたが、同じくらいの不安もありました。しかし、授業、街の散策など様々な場面から、次第に英語を聞き取ることでできるようになって行くのを実感しました。このすばらしい体験ができたことに感謝し、今後に生かしていきたいと思えます。</p>


所属専攻・学年	地球環境工学科・1年
氏名	加藤 真歩
報告	<p>本研修では日本とは異なる生活や文化、ネイティブの英語に触れることが出来ました。シドニー大学での授業は、一クラスの人数が少なく、実際にネイティブの先生や他の国の生徒と英語で話す機会が多く、自分たちで新聞を作って発表をしたこともあり、密度の濃い授業でした。そして、オーストラリアの人が使っているオージーランゲージも学びました。今まで以上に英語に触れる機会が増え、確実に語学能力が向上したと思います。</p> <p>また、ホームステイ先でも実際の英語の日常会話を聞くことが出来ました。それだけでなく、ホームステイ先では、現地の人々の文化も学ぶことが出来ました。たとえば、私が滞在していたところは浴槽がありませんでした。また、ホストファミリーは朝起きる時間が早く、その代わりに夜寝る時間も早いという生活を送っていました。短時間ではありますがオーストラリアでの文化を体験することが出来、日本とは異なるところに非常に関心を持ったのと同時に、異文化理解が深まりました。</p>
謝辞	<p>この度は今回の私の語学研修プログラムに対して助成して頂き、誠にありがとうございました。本プログラムを通じて私は海外の現地に行って直接現地の人と交流し、お互いの文化の違いを知ることが出来ました。更には、語学研修においても、シドニー大学の優れた語学研修プログラムを受講したことにより英語に対する理解をより深め、さらに、興味と学習意欲が高まりました。今後も積極的に海外文化への理解と語学学習得を継続していきたいと思っております。</p> <p>以上、大変ありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	情報システム工学科・2年
氏名	馬場 辰彦
報告	<p>将来どのような職に就き、そしてまたどのような生き方をしていくのかを考えていくときに、英語は私の中で避けては通れない問題でありまた目標でもありました。英語能力に自信のなかった私は、自らの力のなさを自覚するため、また日本では決して得ることのできない経験を手に入れたと考え、今回の語学研修への参加を決意しました。</p> <p>全て英語での授業は英語力を一から見直す機会を与えてくれ、基礎的な部分から学びなおすことができました。また海外での生活は毎日一分一秒に驚き、人々の言動や心情、衣食住、物価、インフラ等、日本との違いをまざまざと感ずることができました。</p> <p>そして何より、英語の重要性について身をもって体験した四週間だったと思います。またこのような貴重な経験を大学生の間に得られたことはとても幸せだと重ねて感じます。</p>
謝辞	<p>四週間という期間は決して長いとは言えませんが、私はこの研修を通して、時間では計ることのできないかけがえのない経験を得ることができました。</p> <p>私がこのような貴重な機会に参加できたのも、沢山の皆様のご支援、KIT げんき会会員の皆様のご支援を頂いたからこそと考えています。この度は本当にありがとうございました。</p>



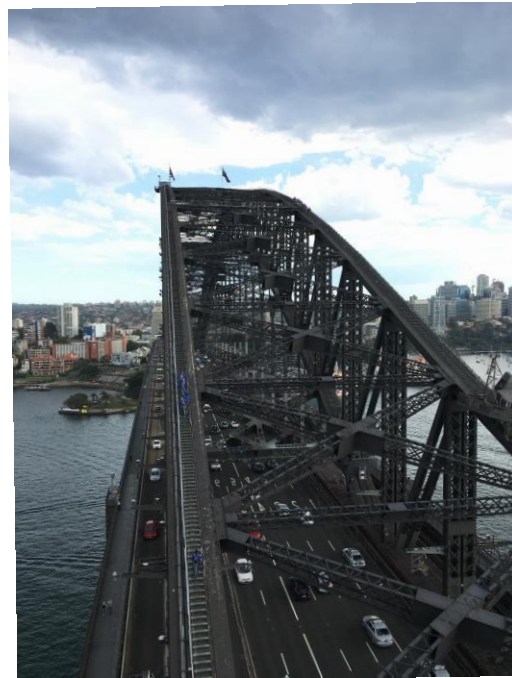
所属専攻・学年	マテリアル工学科・2年
氏名	小倉 慧
報告	<p>CET では日本人のみのクラスだけではなく、様々な国から来た生徒がいるクラスがあるため、日本では体験できないような授業を受けることができました。授業内容も教科書の内容に沿って行うだけでなく、買い物などの状況をイメージしたグループワークやグループ同士テーマを決めお互いに発表するものがありました。問題を解くだけでなく、スピーキングも必要であるので、とてもよい勉強になりました。また、授業のみではなくシドニー市内で、現地の人に道を聞くことなど、今までの授業で得た経験を活かす機会がありました。授業だけでなく、ホームステイ先や街中で常に英語を聞く機会や話す機会が多く、相手の言いたいことが理解できたときや相手に言いたいことが伝わったときは、スピーキングやリスニングの能力が成長したと実感できました。現地の方は親切な方が多く、積極性やコミュニケーションの大切さを学べたと思います。初めは街中で戸惑うことが多々ありましたが、人と話してみると、ゆっくりと話してくれる方や、紙に書いて伝えてくれる方がいて、リスニングに苦手でも、コミュニケーションを成立できるということが学べたので、今回の語学研修はとても素晴らしいものになったと思います。</p>
謝辞	<p>今回の語学研修の支援をしてくださり、KITげんき会会員の皆様へ感謝いたします。私は語学研修によってコミュニケーションの大切さや現地の発音など、日本では学べない貴重な体験ができました。語学研修に支援してくださった皆様に感謝します。</p>

所属専攻・学年	機械工学科・2年
氏名	浅見 鴻太郎
報告	<p>私はこの研修を通じて英語圏で生活する多くの人達と会話する事で生の英語に触れ、普段の生活では出来ないような経験を積むことが出来ました。オーストラリアは日本と異なり多くの人種が生活していて、皆それぞれの国の言語や文化を持っていますが、共通語として英語が使われていました。このように、今まで勉強してきた英語がどのように役に立つのか、実際に使われている場を見ることでより具体的に理解することが出来ました。このような英語圏ではどのように英語が使われているのか知るためには、海外に行かないとわからないので、貴重な経験だと思う。また、オーストラリアの英語教育は日本と違うことが多く、驚かされることが多かった。研修を終えて自分に足りない所や、必要な能力が何か明確になった。これによって今後どのような学習をすれば良いのか理解して、より効率的に英語を勉強出来るようになった。他にもオーストラリアの観光やホームステイとの交流などにより異文化理解を深めることが出来た。</p>
謝辞	<p>この度は助成金の援助を頂き誠にありがとうございます。私が本研修を完遂出来たのも、ひとえに皆様のお力添えのおかげです。げんき会様の助成無しでは留学は出来なかったと思います。研修への参加を可能にして下さったげんき会様に心より御礼申し上げます。本研修で得た成果を将来の糧にして、げんき会様への恩返しが出来たらと思います。</p>

所属専攻・学年	機械工学科・2年
氏名	大西 敦貴
報 告	<p>今回の研修で私は日本にいる時では知ることのできないことをたくさん学んできました。海外研修に行って主に学ぶことと言えば、やはり言語です。今回私は観光やツアーなどの日本でできないようなことを通じて英語を学びました。ツアーではガイドの独特な発音や喋りで聞き取りづらいますが、何度か参加していると、日常での会話が聞き取りやすく感じ研修初日より、ホームステイの人と会話が多少滑らかにできるようになりました。二つ目に海外の人について知ることが出来たことです。今回の研修に参加するまでは海外の人に対して、「次元が違う人達」という考えがありましたが、実際に話してみると全然そんなことはなく自分と同じような人と感じる人もいたので、自分の海外のひとに対する認識が変わりました。そして、これは学んだというか滅多にできない経験をしてきたというべきことですが、ハーバーブリッジのアーチ部分を歩くツアーに参加してきました。橋には多くの車が走っていて上る前は怖いのかなと思いましたが、いざ上ってみるとアーチ部分の鉄橋が太いので意外と怖くありませんでした。こういうのは日本では中々経験できないものだと思うので、とても良い経験を出来たと思いました。他にもブルーマウンテンやボンダイビーチなど、日本よりも大きく透き通った水や砂浜、環境の違いなどを体験してきました。今回の研修は私にとってとても有意義なものであったと思えました。</p> <p>↓はブリッジクライムのインストラクターとの写真</p>  <p>↓はボンダイビーチでの写真</p>



↓はハーバーブリッジの写真



謝 辞

この度は私たちの海外研修に助力・援助していただき誠にありがとうございます。この援助のおかげでコスト面厳しいところをカバーできたので、今回の貴重な体験をすることが出来ました。本当にありがとうございました。

平成 29 年度 K I T げんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

- 1 実施事業名  
語学研修プログラム参加旅費の助成（台湾）

2 事業概要

研修先	中国医薬大学北港キャンパス
研修期間	平成 30 年 3 月 4 日～3 月 24 日
助成対象・金額	3 万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	地球環境工学科・1 年
氏 名	松本 未来
報 告	<p>今回の台湾研修がきっかけで異文化に触れることにより自分の価値観が変化し考えが広がった。台湾の学生と接するとき自分の思いがうまく伝わらなくコミュニケーションができなかったときは言語の壁を強く感じた。身振り手振りを交えて何とか伝えたが大変だった。日本にいとそのようなことはなかったので気づかなかったが、伝えるということがとても重要で難しいことなんだと改めて思った。また、中国語をあまり理解していない状況で台湾の人々と接するので英語が役に立ち、どちらの母国語でもない言語で話した時は感動した。今回はアジア圏の研修だったが同時に英語の語学力向上にもなった。二週間という短い中での中国語のレッスンで、マスターしたとは思えないが、日本に帰国してからも中国語の勉強を続けたいと思えるほど中国語に強く惹かれた。そのきっかけになった意味で今回の研修は有意義なものになった。</p> <p>また、台湾の生活面での文化に触れることで日本基準になっていた自分の考えが大きく変わった。例えば朝ご飯は自分で作ったりせず買いに行ったり、バイク社会や夜市など。驚くことばかりだったが、日本と異なる所をたくさん見つけることができ、台湾の文化に更に興味を持ち、もっと知りたいと思った。</p>

謝 辞	<p>今回の台湾研修で様々なことを経験することができました。これも3万円の助成を受け、参加することができたお陰です。この経験をこれからの大学生活や社会に出たときに活かせるようにしたいと思います。ありがとうございました。</p>
-----	---

所属専攻・学年	地球環境工学科・1年
氏 名	奥山 ほのか
報 告	<p>台湾研修を通して得たことは、コミュニケーション能力の向上です。中国語の授業では、ほとんど日本語や英語での説明がなく中国語で進んでいきましたが、わからないところをその場で質問することによって理解しながら進めることができました。チューターの人たちと話すときは、お互いの国の言語がほとんどわからないので、身振り手振りや表情、英語で話しました。最初は緊張してあまり話すことができませんでしたが、夜市に連れて行ってもらったり、夜に集まって話したり、ラインで連絡したりするうちにどんどん仲良くなって行って、お互いの国の言葉を教えあったり、冗談を言い合えるくらいになりました。台湾の学生や職員の方々はとても親切で、日本人の私たちが歩いていると日本語の挨拶をしてくれて嬉しかったです。</p> <p>今回の留学で自分がやってもらって嬉しかったことを今度は私が北見工大の留学生にも楽しんでもらえるようにしたいなと思いました。また、百聞は一見に如かずということで想像していた台湾留学よりも充実したものになりました。</p>
謝 辞	<p>三週間、海外で過ごすという貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。今後は、もっと現地の人といろいろな話をしたいと思ったので、英語や中国語を話せるようになりたいと思えました。ご支援に感謝いたします。</p>

所属専攻・学年	社会環境工学科・2年
氏名	庄山 弘祐
報告	<p>今回の台湾研修を通して、日本語が通じない異国の人とのコミュニケーションの面白さを実感することができました。私はもともと、大学内で留学生と接触する機会が多く、その面白さや、その反面難しさなどを経験していたつもりではいたしましたが、やはり、自ら行動を起こすと、経験したものとは大きな差があったように感じます。台湾では、主に私たちのサポートをしてくれたチューターさんとの簡単な中国語や、日本語、そして英語を使ったコミュニケーションは、普段の学校教育ではなかなか経験することのない、貴重なものとなりました。日本語の独特な表現を相手に伝えることに苦労もしましたし、おそらく嫌な思いもさせてしまったのだろうとも思いますが、台湾の人たちが、みんな優しく接してくれたことが本当に嬉しく思っています。私も日本で留学生と交流する機会があれば、チューターさんたちがやってくれたように、北見や北海道の魅力を、肌で感じてもらえるように、いろいろな経験をするための手伝いができたらと思っています。</p>
謝辞	<p>金銭的にあまり余裕がなかったので、助成金は本当に助かりました。そのおかげで、多くの収穫を得て帰国することができました。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	社会環境工学科・2年
氏名	井田 知利
報告	<p>今回の台湾研修では、これまで触れたことのなかった中国語を学ぶことができ、これまでの自分が見ていた世界観が広がった。現地での講義も基礎的な内容から教えていただき、毎回の講義に参加して日々着実に学んでいることを実感することができた。こちらのチューターさんとの関わりでも、ほぼ毎日のようにどこかしらに連れて行っていただいたおかげで、一日一日が新鮮で楽しく生活することができた。また、慣れないところでの生活ではあったので、言語面では苦労する面も多々あったのですが日々の講義で身に着けた少なからずの知っている単語を組み合わせて会話することにより、相手も理解してくれようとしてもらい人の温かさを感じることもできた。3週間という短い時間ではあったが、現地の学生との関わりではチューターさん以外にも多くの学生が接してきてくれたので、自分が想像していたよりもはるかに多くの友人を作ることができ、またの人たちからも多くの言葉などを学ぶことができた素晴らしい機会であった。</p>
謝辞	<p>今回の語学研修で3万円を助成していただいたおかげで、新しい世界観が広がり、また今後の自分の進路に向けての大きな弾みになりました。そして、この助成により負担も軽減され、日本に帰ってからの生活も普段通りに送ることができるので、感謝しています。</p>



所属専攻・学年	社会環境工学科・2年
氏名	本田 佳広
報告	<p>今回の研修を通して中国語を理解することができました。日本でも中国語を勉強してきましたが、台湾で学ぶことで現地の言葉に触れより理解が深まりました。日本を出るのは初めてでとても新鮮でした。海外に出ることも大切だと感じました。チューターさんも優しく中国語、英語を話せなくても何とかできました。もっといろんな話がしたかったのでちゃんと勉強してくればよかったと思いました。日本に帰ってからも中国語を勉強して話せるように頑張りたいです。研修を通して一番大きく自分が変わったと思うところは物の考え方です。留学は一回ぐらい行ってみたいと安易な考えで今回応募しましたが、次回研修するときはきちんと目的をもって望みたいです。</p> <p>また、台湾の人はみんなフレンドリーで優しかったです。自分ももっと優しくなろうと思いました。台湾で多くの思い出と経験ができました。研修に参加してよかったです。楽しかったです。</p>
謝辞	<p>3万円の助成金があると聞いて、台湾研修に参加することを決意できました。予算の関係上、参加したいけど参加できない人もいると思います。したがって、助成金があるとみんなも参加しやすいと思います。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	社会環境工学科・2年
氏名	木村 宏海
報告	<p>私は今回人生で初めての海外でした。先生や友人がいるとは言えども、言葉の通じない異国の地での生活は楽しみでもあり、自分の言葉が通じるのか、友達ができるのか、食べ物が口に合うのかなどたくさんの不安がありました。実際最初のほうは3週間は長いような気がして、集団行動なども憂鬱に感じました。でも、日が経つに連れてその気持ちもなくなり、北港キャンパスの学生さんたちと少しずつコミュニケーションをとることができるようになり、いざ帰るとなると本当に悲しく感じます。私にとってこの3週間は本当に素敵な時間で、自分の人生を豊かにしてくれるかけがえのないものでした。今回の台湾での語学研修を楽しかったの一言で終わらせるのではなく、これから北見で私自身が改めて何をしなければならないのか考え、もっと積極的に中国語や英語などの語学を学びたいです。そして、コミュニケーションスキルを身につけ、次に生かしていきたいです。最後に、勉強を教えてくださいました周先生や私と一緒に過ごしてくれた工大生、北港の学生さんに感謝しています。</p>
謝辞	<p>語学研修を通して、貴重な体験をすることができました。また、新たな学習意欲や留学に対する思いもわきました。これも今回助成金を頂いたことにより、この研修に参加できたからです。ありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	社会環境工学科・2年
氏名	渡辺 由梨加
報告	<p>今回の研修中、現地のチューターさんと会話することで、言語抜きにして人と意思を疎通させることの難しさを知りました。伝えたいことが容易に相手の言語にできず、なかなか思っていることが伝わらなかったり、そもそも話すことを諦めてしまったりすることが悔しくて、言語を学ぶことの大切さを感じました。</p> <p>授業で中国語を学ぶうちに、簡単な言葉なら聞いたり話したりすることができるようになり、日常生活に若干習った中国語を挟み込むことができるようになりました。自分の中国語が相手に伝わると、もっと話せるようになりたいと、言語を勉強する意欲が湧きました。</p> <p>また、台湾でいろいろなショーや舞台を見ることによって台湾での人の惹きつけ方を学びました。台湾の観客は静かにパフォーマンスを見る人が多く、あまり手拍子や掛け声をしない印象でしたが、その観客に物を配ったりハイタッチをしたりなど、ファンサービスをすることで観客を自分のステージに引き寄せている印象があります。また MC や解説、そして実力で引き寄せた観客をキープしているところが何より印象的でした。参考にして将来の夢のために自分のパフォーマンスに組み込んでいこうと思います。</p>
謝辞	<p>海外に長期的に滞在することは、多くのことが学べてとても貴重な機会となりますが、その分、お金もかかってしまいます。普段なら自分はお金がかかるので見向きもしない（できない）のですが、助成によって行くことができるということで、海外に足を踏み出すことができました。このことを心より感謝しております。ありがとうございました。</p>

平成29年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

- 1 実施事業名  
語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

研修先	アシャッフエンブルク応用科学大学
研修期間	平成29年8月11日～ 9月2日
助成対象・金額	5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科・1年
氏名	穀内 隆記
報告	<p>ドイツでの1ヶ月はあっという間でした。私は、この語学研修が初めての海外旅行で、見るものすべてが新鮮でした。授業は全てドイツ語だったため、最初は何を言っているのかわかりませんでした。しかし、その日の授業の予習、復習をしっかりとやればある程度は分かるようになりました。</p> <p>また、週末には、電車でフランクフルトに行ったり、車でケルンやノイシュヴァンシュタイン城に行きました。特に、ノイシュヴァンシュタイン城は私が一番行きたかった場所だったので、とても感動しました。買い物をするときには全てドイツ語だったので、とても大変でした。アシャッフエンブルクの市場では、授業で習った表現を使って、買い物をすることができました。ドイツで食べた料理はとても美味しく、特にシュニッツェルが気に入りました。日本とは違う文化を学ぶことができました。</p>
謝辞	<p>今回はとても素晴らしい経験をする事ができました。この助成があったからこそだと思います。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	バイオ環境化学科・3年
氏名	池浦 有希
報告	<p>今回のドイツ研修は私にとって二度目の海外でした。当たり前前のことですが、高校のときに SSH 研修で参加したカナダとドイツは全然違う文化や習慣がありました。当たり前であるはずであったにも関わらず、私は日本と海外という括りで考えていたことと、視野がとても狭かったということが今回の研修で痛いほど良くわかりました。</p> <p>魔女狩りの話、聖戦の話、第二次世界大戦の話なども聞きました。ユダヤ人の大虐殺を忘れないように、繰り返さないようにユダヤ人を殺した場所の道路に名前が刻まれていることを知りました。実際に探してみたところ滞在先で 15 名のユダヤ人の名前を発見しました。</p> <p>今回滞在したアシャフェンブルクは優しい人が多く、とても綺麗な町でした。現在の平和な街を保つためにも異文化理解、異なる思想の理解、力で相手をねじ伏せない事(一方的に虐げない事)が大切だと考えさせられました。</p>
謝辞	<p>今回はとても得難き経験をすることができました。この語学研修に参加したことにより、世界の現状について、歴史についてもっと知るべきであると痛感しました。また、そのために様々な国に足を運びたいと思いました。助成をくださり本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	機械工学科・2年
氏名	橋本 颯人
報告	<p>ドイツでの一か月の生活は本当にあっという間でした。私は、海外へ行くのは二回目で、自分の英語力がないことを痛感し、また英語の重要性について改めて感じました。ドイツでの生活は、到着して数日は初めてのヨーロッパということもあり不安でしたが、慣れてしまえばあまり日本と変わらない印象を受けました。授業が休みの日にはアシャッフエンブルクの街を歩いたり、ケルンやフランクフルトなどの街へ観光へ行き、多くの文化に触れられてよかったです。また、同じクラスの人たちや大学の人たちとBBQ やレストランでの食事で、うまくは話せなかったですが交流できて良かったです。</p> <p>今回の語学研修はドイツで自分が行きたい場所やしてみたいことができたのでとても良かったです。また、英語は絶対に必要と感じたのでこれから英語の勉強をしていきます。</p>
謝辞	<p>今回のドイツでの生活はとても充実したものになりました。この助成があったからこそだと思います。今回の語学研修に参加したことによって、自分の英語力の未熟さに気づき、より一層英語を理解したいと思えるようになりました。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	社会環境工学科・4年
氏名	秦 芳暉
報告	<p>ドイツ語の語学研修でアシャッフエンブルクに3週間滞在させていただきました。授業はドイツ語と英語を使い行われており、正直なところ聞き取ることは難しかったですが何を伝えかわかるように授業を行ってもらい感謝しております。</p> <p>今回の語学研修でのドイツが私の初めてのヨーロッパだったので興奮しておりました。日本との違いはもちろん有りましたが、身体に影響を及ぼすこともなく過ごしやすい3週間でした。また、ドイツ人の学生と会食の機会がありその際に自分が研究で使っている解析ソフトで会話が盛り上がりました。これは学部4年で研究を始めたからであり、文化の違いだけでなく共通の事に気づく事ができうれしく思います。</p> <p>ドイツ語の授業以外にもアシャッフエンブルク大学から交流プログラムや個人での行動が可能でしたので、お祭り等に参加し現地の方と交流でき大変良い経験になりました。</p>
謝辞	<p>今回の研修を皆様のご協力もあり無事に修了することができました。皆様から助成していただき、興味を持った事に金銭的な理由で諦めることがなく、素晴らしい経験を得させていただきました。KIT げんき会会員の皆様に深く感謝申し上げます。</p>

平成 29 年度 KIT げんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

- 1 実施事業名  
短期交流研修（派遣）の助成（大韓民国）

2 事業概要

研修先	慶尚大学校工科大学
研修期間	平成 29 年 9 月 12 日～9 月 19 日
助成対象・金額	5 万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科・1 年
氏 名	能登屋 全
報 告	私にとって今回の研修が初めての海外でした。海外と言っても隣国だから日本の生活と変わらないと思っていました。しかし、日本とは全然違い、食事の時や店に行った時にマナーや韓国の生活を学生やゲストハウスの方に教えてもらいました。この時に日本もしくは自分を普通だと考えていた考え方が変わりました。他にも韓国の歴史を学び、韓国が形成していく過程で中国や北朝鮮、日本とどのように関わっていたのかも学びました。慶尚大学の学生が兵役などの話をしてくれた時に「北朝鮮とはまだ停戦中だから」と話していました。歴史的に根深い問題がこんなにも身近にあることが衝撃でした。大学・企業見学などで感じた物事に対する慶尚大学の学生の意識・関心の高さは見習いたいと思いました。
謝 辞	この研修における全てが自分の世界の狭さを実感させてくれたと同時に広がる可能性を感じさせてくれた経験になりました。 今回のこの貴重な体験はKIT げんき会の皆様に支えていただいたおかげだと思っています。本当にありがとうございました。



所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科・1年
氏名	西牟田仁
報告	<p>今回の研修では、異国の文化に全身で触れ、私の世界観が大きく広がる有意義なものでした。この研修中の自由時間に向こうの学生と連絡を取り合いダンス部に参加させてもらうことが出来ました。異なるジャンル、スタイルでダンスを見せあったり、意見を交換し合えたりしたことはとても良い経験になりました。また、韓国の言葉は全くできませんでしたが、英語圏以外でも英語が伝わることを実感することができ、一人でタクシーに乗ったり日本人一人で食事に行けたりしたこともとてもいい経験になりました。自分の英語が相手に伝わることはとても嬉しく、このような体験が出来たことはこれからの英語学習のモチベーションにつなげていけると確信しています。多くの友達を作ることができ、来年また会う約束ができたので、次に韓国に行く時は自分一人の力で行けるように努力します。</p>
謝辞	<p>今回の研修での経験は私にとって大変貴重なものになったと実感しています。</p> <p>KIT げんき会の皆様の支援のおかげでとても参加しやすかったです。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	社会環境工学科・4年
氏名	山口 滉平
報告	<p>私自身、海外へ行くのがはじめての体験でした。研修直前は本当に大丈夫かと非常に心配していました。韓国という地に着いて、英語も伝わらずインターネットの繋がらないところでは本当に頼るものはありませんでしたが、なんとか必死に伝えようとする相手も一緒に考えてくれたりしてくれました。今回一番感じたこと・周囲に伝えたいことは“はじめての海外が観光ではなくこのような交流研修だったのは本当に良かった”ということです。現地の大学生と連日交流を深めることができ、言葉や文化、様々なことを教えてもらいました。韓国の男性は女性に対して非常に紳士でした。日本人に足りない優しさがあり、我々日本男児の肩身がとても狭い1週間でしたがそれを毎日見習った結果、帰国時には少し成長したねと言っただけでした。宿泊先のゲストハウスでも毎日韓国語で会話をしていたため、話すことは難しくとも相手が何を言っているのか少しわかるようになりました。最後にはゲストハウスの方に「私はあなたの韓国の母だよ、いつでも帰っておいで」と言ってもらえ、泣いて抱き合っただけで別れたのは忘れられません。</p> <p>韓国にはまた行きたいし、研修で他の国に行ってみたいと今非常に強く希望します。</p>
謝辞	<p>今回の研修は私の人生の中で一二を争うほどの経験です。本当に心から感謝しています。またお世話になることがありましたらよろしく願います。今回は本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	情報システム工学科・4年
氏名	松田 拓也
報告	<p>今回の研修では、たくさんの現地の方々と接することができてとても有意義に過ごすことができました。</p> <p>一方で、今回の研修の中で、私は言語の壁の難しさも考えさせられました。韓国に行く前は、英語が話せれば問題なくやっていけると考えていました。しかし、現地では文字を読むこともコミュニケーションも自分の意志を思うように伝えることができませんでした。この短い期間で英語圏以外の現地の人々ともっとつながるためには現地の言語の取得が必須だと痛感しました。この経験は私にとって帰国後の英語以外の言語を取得するためのモチベーションにつながりました。また、韓国の様々な文化と触れるなかで自分の国の歴史や文化を客観的に見ることができました。今回の研修を通じて、私は自分自身が自国や隣国の言語や文化、歴史についてもっと知っていくべきだと思えたことは私にとって良い経験になりました。そして、この経験は私自身の今後役に立つ経験だと信じています。</p>
謝辞	<p>今回の研修は、私にとってとても貴重な体験ばかりで大変有意義なものでした。このような経験ができたのもKITげんき会の皆様の支えがあったことだと思っています。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	機械工学科・2年
氏名	山口 天愛
報告	<p>今回の研修では、とても楽しい思い出できました。今まで知らなかった韓国の歴史や食文化に触れることができました。反対に、苦労したこともいくつかありました。ハングル文字が読めず、また言葉も通じなかつたので買い物することすら戸惑う場面がありました。日本では当たり前に行えることでも、海外では買い物すらままならないことに少し歯がゆい思いすらしました。ですが、このような経験を通して、より英語の学習の必要性を感じることができ、意欲を持って学習することができると思います。交流研修に参加でき良かったです。</p>
謝辞	<p>助成金のおかげで今回の研修に参加することができました。このような貴重な経験をさせていただいたことに感謝しています。ありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	マテリアル工学科・2年
氏名	宇賀神 舞
報告	<p>今回の研修を経て、自分の中の世界が狭かったことを痛感しました。日本とさほど距離もない韓国でも、言葉はもちろん、文化や習慣が全く違います。20年間日本で生活してきた私にとって韓国の習慣を理解し行動するというのはなかなか難しいものではありませんでしたが、この経験は日本で暮らしていたら感らじれるものではありません。今回の研修に参加できたことを嬉しく思います。</p> <p>研修中、今まで韓国語に触れ合う機会がなかった私は現地の方の言葉は一つも分かりませんでした。なんとなくですら理解することができず、非常に歯がゆい思いをしました。慶尚大学の学生と交流する時は英語でコミュニケーションをとったのですが、言いたいことがなんとなくでも理解できたときとても嬉しかったです。もっと自分の思っていることをそのまま伝えたいと思ったとき、英語教育の大切さを感じさらに頑張りたいと今回の研修を終えて思いました。</p>
謝辞	<p>今回の研修に参加し私は自分の中の世界の広さが格段に広がりました。研修に参加できたことを嬉しく思います。</p> <p>とても貴重な体験ができたのはKITげんき会のご支援あってこそだと思います。ありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	機械工学科・2年
氏名	美濃島 絢太
報告	<p>今回の韓国研修は、僕にとって初めての海外となり、読めない文字や聞きなれない言葉などほとんどが新鮮で不思議な感じがしました。そして実際に韓国の方と話したり、様々な場所を観光したり、様々な料理を食べたりと韓国を知る良い1週間になりました。宿泊したゲストハウスでは多くの方が迎えてくれました。言葉は通じなくても一緒に遊んだり、ご飯を食べたり、時には夜景を見に連れて行ってくださり感謝の気持ちでいっぱいです。さらに韓国の学生さん達とも一緒に観光したり、遊んだりしました。日本語を話せる人が多く、とても上手に話すので驚きました。「自分も韓国語を含め他言語を話せたらもっと楽しく会話できるのにな」と非常に言語学習へのモチベーションが上がりました。この研修ではたくさんの経験を得ることができました。韓国について知ることができ、海外にさらに興味を持つこともできました。北見工業大学には国際交流ができるサークルがあると聞きます。この経験を活かして留学生達と良い思い出を作っていけたらいいなと思いました。</p>
謝辞	<p>この度は韓国へ行き、様々な新しい経験をすることができました。自分にとって海外に興味を持つとても良い機会となりました。それもKIT げんき会の方々のご支援のおかげです。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	社会環境工学科・4年
氏名	平林 大樹
報告	<p>今回の韓国短期交流研修では、自分にとって初めての海外経験でした。実際行ったこともない国の全く知らない土地で一週間の生活をして見て楽しかったこと、驚いたこと、苦労したことなど様々なことを学ぶことができました。その中でも苦労したことで、自分たちはいつも話したいことをその場で言葉として発しているのに対し、海外の人々とコミュニケーションをするにあたって、以前から学習している世界共通語である英語を慣れない文法や単語を頭の中で思い出しながら話すことの難しさを実感しました。実際に話してみても通じなかったことも沢山あったけどこれからの英語学習への意欲も高まりました。また、韓国語の基本的な言葉である「アニョンハセヨ」や「カムサハムニダ」と言った言葉だけで韓国の人たちの笑顔が見れたことに嬉しさを感じました。日本には韓国に対して良くは思っていない人たちも多いけど韓国人はとても親切な人たちが多く、日本人である自分たちをとても温かく受け入れてくれました。食事もとても美味しく、日本とはまた違った文化を学ぶこともできてとても貴重な一週間になりました。今後も韓国だけでなく色々な国を廻ってみたいと思いました。</p>
謝辞	<p>今回の研修は大変貴重な経験になりました。 このような体験をさせていただいたKIT げんき会の方々、本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	社会環境工学専攻・1年
氏名	柿崎 圭人
報告	<p>今回の研修では、大変よい経験をさせて頂いたと思っています。私は歴史が好きで、大河ドラマや本を読んで調べたりします。韓国の歴史には、前々から興味がありました。中学生や高校生の時に日本史で習う百済と日本との関係には特に興味があり、今回の研修で百済の都がある扶余に行けたことは私としては、大変よい経験でした。扶余に関する城跡や博物館に行っ様々な話しを聞いて勉強になりました。また、研修に参加することで、韓国の学生と交流できたこともよい経験です。今、韓国と日本の関係は歴史や領土などの問題で良好とは、私は思いません。しかし、研修に関わった韓国人だけかもしれませんが、日本人との関係は良好に見えます。互いに理解し合おうとしていたと思います。このような関係がお互いの国に広がっていけば良いと考えます。今回、この場では、書き尽くせないほど、良い体験をさせて頂きました。このような体験が今後の研究生活に活かされていくと思っています。</p>
謝辞	<p>今回の研修で体験してきたことは、今後の研究生活に活かされていくと信じています。</p> <p>このような貴重な体験ができたのも KIT げんき会の皆様に支えていただいたおかげだと思っています。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	バイオ環境化学専攻・1年
氏名	安永 亜花里
報告	<p>今回の研修は、1週間という短い期間でしたが、多くの事を学ぶことが出来ました。また、学生生活において大変貴重で大切な経験となりました。私は、この研修で初めて韓国に行きました。日本に近い国ですが、あまり韓国について知りませんでした。文化や習慣、食生活など目にするもの、体験することすべてが初めてのことでとても新鮮でした。知っているようで知らなかったことが多くあり、もっと多くの知識をつけていくべきだと感じました。慶尚大学校の皆さんとの交流においても、日本の学生と韓国の学生の違いなども知ることができ、大変有意義な時間となりました。また、本大学からの学生との交流も、初めて会う人達との生活という事で大変貴重な経験となりました。この出会いを大切に、これからも繋がりを持ち続け、交流の輪を広げていけたらと思います。</p> <p>今回の研修を通してもっと様々なことに興味を持ち、視野を広げていきたいと思いました。英語のみならず韓国語の勉強もしていけたらと思います。また、体験した事や感じた事をこれからも忘れず、生かしていきたいと思います。</p>
謝辞	<p>今回の研修において様々な経験や体験をすることが出来ました。私の学生生活においてかけがえのない大切な経験となりました。</p> <p>このような貴重な経験ができたのもKITげんき会の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。</p>



1 実施事業名  
留学生派遣の助成

2 事業の概要

本学と地域との国際交流の推進を図るため、外国人留学生を地域の各種団体等へ派遣し、派遣先で行われている行事に参加させる。

3 参加者の様子

特別聴講学生向け講義「日本事情」「初級日本語」において、北見市立小泉小学校及び北見北斗高校に留学生を派遣し、学校間国際交流を行いました。

交流実績として、小泉小学校と2回、北見北斗高校と1回、計3回行いました。

小泉小学校との交流は、1回目は11月6日（月）、2回目は12月18日（月）に行いました。留学生を2～4名ずつの班編を行い、給食体験や昼休みに小学生と会話しながら交流を行いました。また、各留学生から10～25分ずつの持ち時間で自国文化の紹介を行いました。小学生が理解できるように言葉遣いや発音に留意しながら発表を行い、熱心に聞く小学生を見て、留学生たちは大きな喜びと達成感を得ることができました。



北見北斗高校との交流は、12月20日（水）に行いました。留学生5人とサイエンスクラブの高校生14人と交流会を行い、留学生による「日本の高校と高校生のイメージ」、自国での高校生活、日本の高校との違い等についての発表をしました。サイエンスクラブの高校生からは、手掛けている研究の内容について発表を行い、意見交換をしました。

また、調理実習と、剣道部の部活動の体験もさせていただき、留学生にとって日本の高校を経験できる貴重な場となりました。



#### 4 謝辞

留学生派遣の実施にあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。

皆様からのご支援により留学生に日本の給食体験や高校生活の体験など、貴重な経験をさせていただくことができました。また、数回に渡って学校関係者と交流ができたことで、留学生は小中高生や職員の皆様と顔見知りになり、お互いに理解し合おうとする雰囲気生まれ、素晴らしい国際交流の場をつくる事ができました。賛助いただいたKITげんき会の皆様に、国際交流センター一同、心より感謝を申し上げます。

今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

インターナショナルCアワー開催の助成

2 事業の概要

外国人留学生が本学の学生・教職員のみならず市民との交流の場を持つことにより、国際交流の促進を図る。

毎回異なったプログラムを通して、留学生が日本の伝統芸能や四季折々の祝い事やしきたりに触れ、日本文化への理解を深めることや、日本人参加者が異文化について学ぶことを目的としている。

3 開催報告

2017年	4月25日	留学生歓迎会
2017年	5月24日	サウジアラビア王国のお国紹介
2017年	6月27日	竹とんぼ作り
2017年	8月 2日	流しそうめん
2017年	10月31日	留学生歓迎会&ハロウィン
2017年	12月 7日	フィンランド・ポーランド・ドイツ留学体験談
2018年	1月16日	餅つき
2018年	2月 7日	タンザニア連合共和国のお国紹介

4 謝辞

インターナショナルCアワーを開催するにあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。おかげをもちまして、全8回を盛況のうちに終了することができました。

これも皆様のご支援あってのことと国際交流センター関係者一同、感謝いたしております。皆様からのご支援により、茶菓と飲み物を用意させていただきました。そのおかげで、温もり感のある場を提供できただけでなく、留学生と市民、一般学生を含めた交流を促進し、異文化理解を深めることができたと思っております。

今後ともご支援のほど、よろしく願い申し上げます。

1 実施事業名

留学生交流イベントの助成

2 事業の概要

外国人留学生と地域の各種団体等との国際交流の推進を図るため、留学生並びに教職員、北見市民等との留学生交流イベント（留学生交流の夕べ）を行う。

3 参加者の様子

平成29年12月13日（水）、本学コミュニケーションアトリウムにおいて、毎年恒例となっている留学生交流イベント（留学生交流の夕べ）を開催しました。

日ごろから本学の国際交流にご協力いただいている約170人の学内外からの方々にご参加いただき、交流を深めました。

はじめに高橋学長からの挨拶があり、引き続き卒業生の代表として、中国人留学生のGULIBUSITAN AIERKENTAI（グリボスタン アルキンタイ）さんから、留学生活での楽しかった思い出や、お世話になった方々への感謝の言葉などのスピーチがありました。



交流会では、卒業・修了する留学生のスライドの上映が行われました。各自が作成したスライドに合わせて、入学した頃に比べてはるかに流暢になった日本語で、北見での思い出を語ってくれました。

更にアトラクションでは、フィンランド人留学生によるアカペラ歌唱や、中国人留学生による歌やカンフーの披露、台湾人留学生による歌の披露、タップダンス、中国人留学生による伝統舞踊、そして最後にマレーシア人留学生によるバンド演奏が行われ、会場を大いに盛り上げてくれました。



夕べに参加した留学生は、いつもお世話になっている方々との思い出話や記念撮影に花を咲かせ、和やかな雰囲気の中で閉会となりました。



#### 4 謝辞

留学生交流イベント（留学生交流の夕べ）を開催するにあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。このように盛大な交流会ができたのも、ひとえに皆様のおかげと国際交流センター関係者一同、心より感謝申し上げます。

皆様からのご支援により、茶菓や飲み物、そして食事を用意させていただきました。また、各関係者への案内状や、当日配付しました冊子と集合写真の作成にも役立てさせていただきました。おかげをもちまして、参加者全員にとって心に残る交流会を提供できたと思っております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

1 実施事業名

就職支援助成（地元合同企業説明会等）

2 事業の概要

人材確保が課題となっているオホーツク地域の企業と、本学学生や地元専門学校生の出逢いの場を提供し、人材を確保するとともに地域経済の活性化を目指す。

3 参加者の様子

○オホーツク地元企業と学生・就職担当教員との意見交換会

平成29年9月26日（火） 本学第1・2会議室

本学、北見商工会議所、KIT げんき会との共催で、オホーツク地元企業と本学学生・就職担当教員との意見交換会を開催しました。

学生38人、就職担当教員15人、オホーツク管内の企業26社48人が参加し、就職に関する学生のニーズやオホーツク地域での就職に対する課題等について意見交換が行われました。

学生からは、オホーツク管内での就職に関して「企業を知らない」「希望する業種の企業がない」「交通のアクセスが不便」など率直な意見が上がり、企業側からは「地域、企業の不足している部分があった」「企業側とのギャップを感じられた」と今後の課題が明らかになるなど、有意義な意見交換会となりました。



#### ○オホーツク企業合同セミナー

平成30年2月21日（水） 本学第二体育館

本学、オホーツク商工会議所協議会、北見市大卒者情報センター、そしてKITげんき会との共催で、オホーツク企業合同セミナーを開催しました。オホーツクの企業・団体が一同に机を並べ、参加学生が興味のある企業へ立ち寄るブース形式で実施し、北見市を含む近隣6市町から45社、平成31年3月卒業・修了予定の本学学生や専門学校生ら約60名が参加しました。

学生からは、「様々な業種のブースがあり、幅広く知ることができた」「パンフレットに書かれていること以外も聞くことができ、とても参考になった」といった声がありました。



#### 4 謝辞

オホーツク地元企業と学生・就職担当教員との意見交換会及びオホーツク企業合同セミナーを共催で開催していただき、心から感謝申し上げます。皆様からの御協力により、学生と地元企業との出逢いの場、また情報交換会の場を提供することができました。

これらの事業を推進することにより、今後のオホーツク地域の人材創出に繋がっていただければと思っておりますので、今後とも、御協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

1 実施事業名

図書館配架用学生向け参考図書購入の助成

2 事業の概要

図書館に配架している参考図書で新版が出版されたものや、利用が見込まれる新規の参考図書を情報図書課内で選定し、購入した。

3 購入図書一覧

別紙のとおり

4 謝辞

この度は皆様からのご厚志により、学生向けの参考図書の充実を図ることができました。今回購入した洋書や辞典等を本学図書館に配架することで、本学の教育や学生の学習支援に役立たせることができます。この場をお借りして感謝を申し上げます。

北見工業大学では学生のみならず、地域住民の方にも快適に図書館をご利用いただけるよう努めております。今後もより一層開かれた大学作りを目指し、地域と一体になれるよう邁進していきますので、今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。



## 平成29年度購入 参考図書一覧

書 名	金額(税込)
Springer Handbook of Robotics 2nd ed. (Springer Handbooks) H 2350 p. 16	60,912
Handbook of Disaster Research 2nd ed. (Handbooks of Sociology and Social Research) H XXVIII, 723 p. 17	46,936
Handbook of Magnetic Materials, Volume 26 hardcover 528 p. 17	49,744
The Handbook of Urban Morphology (The Urban Handbook series) H 248 p. 17	8,391
地形の辞典	24,991
広辞苑 第7版・普通版	8,170
第一級陸上無線技術士試験やさしく学ぶ 無線工学B 改訂2版	2,691
合 計	201,835

(1,835円については情報図書課予算より支出)

## 平成 29 年度 KIT げんき会事業実施報告書

担当課名： 総務課

### 1 実施事業名

女満別空港広告看板掲出料の助成

### 2 事業の概要

女満別空港 2 階出発ロビーへ広告看板の掲出

### 3 広告掲出状況

搭乗手続き待ちや見送り等の空港利用者に向けた広報を目的として、平成 17 年 4 月から継続して掲出しています。平成 29 年 3 月に一新したデザインは、学部改組後の 2 学科のイメージとロゴマークが映えるようにと作成しました。



### 4 謝辞

本事業に関し、平成 17 年度から継続してご支援いただき心から感謝申し上げます。今後も地域に輝き、地域に貢献する大学として邁進していく所存ですので引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

1 実施事業名  
北見ぼんちまつり参加者への助成

- 2 事業の概要  
北見市恒例の夏祭りイベント「北見ぼんちまつり舞踊パレード」に学生及び教職員によるチームで参加し、本学の存在をアピールするとともに、地域の活性化に貢献しました。

3 参加者の様子



川村副学長を団体長とする北見工大チーム

4 謝辞

本事業にご支援をいただき心から感謝申し上げます。

これからも地域との交流事業に積極的に参加し、学生の元気で地域を盛り上げていきたいと思っておりますので、今後ともご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

北見工業大学後援会「KITげんき会」

平成29年度決算書

収入の部

項 目	予 算	決 算	備 考
会 費	2,200,000	1,966,000 円	個人会員(28件) 156,000 円 法人会員(101件) 1,810,000
寄 附 金 等	1,000,000	798,000 円	同窓会会員からの寄附(166件) 798,000
雑 収 入	500	2,588 円 (内訳) 28 2,560	預金利息 残高証明書手数料発行手数料の振替
前年度からの繰越	3,561,269	3,561,269 円	
合 計	6,761,769	6,327,857 円	


支出の部

項 目	予 算	決 算	備 考
後援会運営費	320,000	111,006 円	円
通 信 費	(内訳) 200,000	(内訳) 104,738	印刷物郵送料、返信用葉書
事 務 費	20,000	6,268	事務諸雑費、振込手数料
印 刷 費	100,000	0	
大学援助費	3,078,000	3,093,609 円	
学生に対する支援	(内訳) 1,890,000	(内訳) 2,299,809	語学研修プログラム参加旅費の助成 50,000円×11人=550,000円(オーストラリア) 30,000円×7人=210,000円(台湾) 50,000円×4人=200,000円(ドイツ) 短期交流研修(派遣)の助成 50,000円×10人=500,000円(韓国) 留学生派遣の助成 20,499 インターナショナルCアワー開催の助成 117,975 留学生交流イベントの助成 201,335 就職支援助成 300,000 図書館配架用学生向け参考図書購入の助成 200,000
大学広報等への支援	1,008,000	615,600	女満別空港広告看板掲出料の助成 615,600
北見ぼんちまつり 参加への支援	180,000	178,200	北見ぼんちまつり参加者への助成 178,200
予 備 費	3,363,769	0 円	
支 出 計		3,204,615	
次年度繰越金		3,123,242 円	
合 計	6,761,769	6,327,857 円	

## 監 査 報 告 書

本会規約第6条第5項に基づき、平成29年度北見工業大学後援会収支簿及び預金通帳類に関する監査を行った結果、適正に処理されていると認めましたので報告いたします。

平成30年6月28日

監 事 小澤 實之郎   
監 事 富田 剛史 

北見工業大学後援会「KITげんき会」

平成30年度事業計画書（案）

事業	摘要
1 会議	
1) 総会	年1回開催
2 支援事業	<p>1) 学生に対する支援</p> <p>語学研修プログラム参加旅費の助成</p> <p>留学生派遣の助成</p> <p>インターナショナルCアワー開催の助成</p> <p>留学生交流イベントの助成</p> <p>就職支援助成（地元企業合同セミナー）</p> <p>地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生表彰の助成</p> <p>図書館配架用学生向け参考図書購入の助成</p> <p>競技用トランポリン購入の助成</p> <p>2) 大学広報等への支援</p> <p>女満別空港広告看板掲出料の助成</p> <p>3) 北見ぼんちまつり参加への支援</p> <p>北見ぼんちまつり参加者への助成</p>

北見工業大学後援会「KITげんき会」

平成30年度予算書(案)

収入の部

項 目	予 算	備 考
会 費	2,200,000 円	個人会員(100口 × 3,000円) 300,000 円
		法人会員(190口 × 10,000円) 1,900,000
寄 附 金 等	1,000,000 円	同窓会会員からの寄附 1,000,000
雑 収 入	500 円	預金利息等 500
前年度からの繰越	3,123,242 円	
合 計	6,323,742 円	

支出の部

項 目	予 算	備 考
後援会運営費	270,000 円	円
通 信 費	(内訳) 150,000	印刷物郵送料、返信用葉書 150,000
事 務 費	20,000	事務諸雑費、振込手数料 ほか 20,000
印 刷 費	100,000	払込取扱票印刷 ほか 100,000
大 学 援 助 費	3,816,000 円	
学生に対する支援	(内訳) 800,000	語学研修プログラム参加旅費の助成 800,000 50,000円×5人=250,000円(オーストラリア) 30,000円×5人=150,000円(台湾) 50,000円×8人=400,000円(ドイツ)
	50,000	留学生派遣の助成 50,000
	120,000	インターナショナルCアワー開催の助成 120,000
	242,000	留学生交流イベントの助成 242,000
	300,000	就職支援助成(地元企業合同セミナー) 300,000
	300,000	地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生表彰の助成 300,000
	200,000	図書館配架用学生向け参考図書購入の助成 200,000
	1,000,000	競技用トランポリン購入の助成 1,000,000
大学広報等への支援	616,000	女満別空港広告看板掲出料の助成 616,000
北見ぼんちまつり 参加への支援	188,000	北見ぼんちまつり参加者への助成 188,000
予 備 費	2,237,742 円	
合 計	6,323,742 円	

## 北見工業大学後援会「KITげんき会」規約

(名 称)

第1条 本会は、北見工業大学後援会「KITげんき会」と称する。

(目 的)

第2条 本会は、地域と同窓会が一体となって、北見工業大学の発展及び学生の生活向上のための援助等に協力することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 一 北見工業大学の発展のための援助
- 二 北見工業大学の学生の生活向上等のための援助
- 三 会費、寄付金品の受理及び処理
- 四 その他必要な事項

(組 織)

第4条 本会は、次に掲げる会員をもって組織する。

- 一 個人会員
- 二 法人会員

(役 員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- 一 会 長 1人
- 二 副 会 長 若干人
- 三 常務理事 1人
- 四 理 事 若干人
- 五 監 事 2人

2 役員は、総会において選任し、又は解任する。

(職 務)

第6条 会長は、本会を代表し、会務を統括するとともに会議を招集して、その議長となる。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 3 常務理事は、会計及び本会の運営上重要な事項を処理する。
- 4 理事は、本会の運営上必要な事項を審議する。
- 5 監事は、本会の会計を監査する。

(任 期)

第7条 役員任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じた場合は、必要に応じて補充する。但し、補充された役員任期は、前任者の残任期間とする。

(総会及び役員会)

第8条 総会及び役員会は、年1回開催しなければならない。

但し、必要に応じて会長が臨時に召集することができる。

- 2 総会に次の事項を付議する。
  - 一 役員選任、解任



- 二 事業計画及び事業報告
- 三 予算及び決算
- 四 規約の制定及び改廃
- 五 その他本会の運営に必要な事項

- 3 役員会は、会長、副会長、常務理事、理事をもって構成する。
- 4 役員会は、本会の事業運営及び総会に付議すべき事項を審議するものとする。
- 5 総会及び役員会の議長は、会長がその任にあたる。
- 6 総会及び役員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(顧問)

第9条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、役員会の議を経て、会長が委嘱する。

(事務局)

第10条 本会の事務を処理するため、事務局を北見市公園町165番地北見工業大学内に置く。

- 2 事務局には、次の職員を置く。

- 一 事務局長
- 二 事務局員

- 3 事務局長は、常務理事の職務を補佐することとし、会長が北見工業大学の教職員の中から委嘱する。
- 4 事務局員は、会長が委嘱する。

(会計)

第11条 本会の目的の達成及び運営に資する資金は、会員の会費、寄付金等をもって充てる。

- 2 会員の会費は、次に掲げるとおりとし、毎年、定められた時期に納入する。

- 一 個人会員 一口 3,000円
- 二 法人会員 一口 10,000円

- 3 本会の会計は、後援会運営費と大学援助費に区分して経理する。
- 4 後援会運営費は、後援会運営上必要な経費をいう。
- 5 大学援助費は、学術振興、国際交流、学生の生活向上等に必要な経費をいう。

(会計年度)

第12条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(雑則)

第13条 この規約に定めるもののほか、本会に関し必要な事項は、役員会が別に定める。

#### 附 則

- 1. この規約は、平成17年11月30日から施行する。
- 2. 初年度の会計年度は設立総会日より平成18年3月31日までとする。
- 3. 初年度の役員任期は設立総会日(平成17年11月30日)より平成20年3月31日までとする。